

・・・つづいて客車のワックスがけ

その前に、シートを取り外した後、フダンソウ路をしにくいところの掃き掃除をしました



本線沿いは、大井川鉄道の職員の方に列車が来る前に合図をしていただき、安全には気をつけました。午前中は本線側、午後は側線側と、陽の当たる方をワックスしていきました。

ワックスを各自容器に入れる

手の届かないところはモップを使用したが、ワックスが着き過ぎてしまう



高いところは脚立を使うのが一番



不精者め！



得意技？は誰でもができるものではありません。安全上はお薦めできません。若い頃に鍛えた？奴のみができるのさ、とは本人の弁。



この磨き込みの際の、気持ちの入れ方によって磨いた後の輝きが違ってくるのである。決して機械化などと楽をしてはいけません。



磨くとピカピカに